

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I, V 】
2 実施対象者	つくばみらい市立十和小学校 第1学年～第6学年
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>1 教科名 ( )</p> <p>② 行事名(「きらきらスポーツ交流会」,「にこにこフォーラム」)</p> <p>3 その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>1 イベント名 ( )</p> <p>2 その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>(1) きらきらスポーツ交流会 地域の高校生アスリートから、技術を伸ばす方法や取り組みの姿勢を学び、目標をもって努力する態度を身につける。</p> <p>(2) 「オリンピックのお話を聞こう！」(にこにこフォーラム) オリンピックによる「努力の足跡」などの話を伺い、自分の目標や努力の大切さについて考えることができる。(高学年にはキャリア教育の観点において、スポーツに関連した職業について知り、職業観をもたせる。)</p>
5 取組内容	<p>1 「きらきらスポーツ交流会」をしよう ～地元の高校生(県立伊奈高等学校)アスリートに技を学ぼう～</p> <p>◎県立伊奈高等学校の高校生による実技講習会の実施 十和小運動会(9/30)の昼休みの時間帯において、県立伊奈高等学校の生徒によるアトラクションおよび実技指導を行っていただいた。協力いただいた部活動は野球部、サッカー部、ハンドボール部の3つである。今年度の「小高連携」は初の試みということもあり、事前の打ち合わせは教務主任を中心に綿密に行い、イメージを共有した。</p> <p>伊奈高生徒や顧問の教師による活動内容紹介とともに実演と体験コーナーを設置した。児童はもとより保護者や地域の方々も、躍動感と迫力にあふれる高校スポーツに目を見張った。特に児童参加の体験コーナーでは、大きくたくましい高校生の中に積極的に入っていく、きめ細かな技術指導を受け、キャッチボールやボールパスなどの上達のコツを学ぶことができた。「ナイスキャッチ! 筋がいいよ。」「いい肩だねえ。将来うちの学校に入って活躍してほしいな!」などと声をかけていただき、十和小の児童からは満面の笑みがこぼれた。</p> <p>十和小では「まごころ往復書簡」を行っている。この交流会の後は伊奈高校生の皆さんへのお手紙を、寄せ書き風にして贈った。「ぼくたちのために、優しく丁寧に教えてくれてうれしかったです。」「ぼくもお兄さんたちのように強くなれるよう頑張りたいです。」など、目標とする言葉が沢山寄せられていた。</p>



## 2 オリンピアン・衣笠（山野井）絵理さんのお話を聞こう

～にこにこフォーラムで「きらきら」を見つけよう～

<山野井絵理さん 元アトランタオリンピック水泳選手>

◎人権教育とキャリア教育の視点から「個性の磨き方」を学ぶ

人権集会の「にこにこフォーラム」（12/20）において、人権尊重・個性尊重、互いを認め合いながら自分の中に光る個性を見つけて磨いていくことの大切さを学ぶ機会を得た。家庭教育学級も同時開催で、保護者の皆さんにもお話を聞いていただくことができた。衣笠（山野井）絵理さんのお話は、その道を極めた人のもつ視点の高さや高名な方々との交流など魅力にあふれており、誰もがその華々しさに憧れをいだくようなお話であった。

- ・負けず嫌いで「水泳で1番」になりたかったのがはじまり。
- ・選手村は夢の国。多くの有名人と友達になれるところ。
- ・プレッシャーに負けられない厳しい世界でもある。
- ・前向きに頑張る姿が、周りの人を笑顔にできる。
- ・苦しいときに支えてくれる人に感謝。感謝のことばを忘れずに。
- ・つながりを大切に。今でも支え合って生きている。人生が豊かに。



夢を叶えるために努力を続けた衣笠（山野井）選手の素晴らしさに児童たちは感動し、憧れを抱きながら聞き惚れていた。6年生の「まごころ書簡」には次のような内容が多く書かれていた。「一流になって世界を舞台に活躍していた人が、同じ市内に住んでいることに感激しました。私にはまだはっきりとした夢がないので、まず始めに目標をもつこと、次に目標を達成するためのやり方を考えること、そして努力することの大切さを学びました。私も自分の夢をもち、叶えたいです。」「努力していると、同じように努力する人と仲良くなれるのではないかなと思いました。頑張っている友達を沢山つって、人生を充実させたいです。」との抱負を語る姿が数多く見られた。

6 主な成果

小高交流「きらきらスポーツ交流会～高校生アスリートとの交流～」は初めての試みであったが、児童たちは技能の高さに感激し、身近な憧れとして

	<p>捉えることができた。初めて接する地元高校生に親しみをもったと同時に、「ぼくも伊奈高校に行きたい。」などと高校進学への希望をもったことや、部活動は何に取り組むかなどと考え始めたことに大きな価値があったように思う。また「にこにこフォーラムⅡ～オリンピックのお話～」では、努力の素晴らしさや「自分はどんな生き方をしたいか」等のキャリア教育の視点をもつことができた。水泳を習っている児童も多く、目標をもって努力し、継続すれば自分も代表選手のようになれるのではないかと期待を膨らませていた。また、運動だけでなく、努力して結果を出してきた方の輝きに大きく影響を受け、自分も目標をもって頑張りたいと語る児童が多く見受けられた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>児童の視野は比較的狭く、物事を俯瞰して考える機会が少ないので、関連性に気づけないことが多い。そのため、自分の将来や夢についてどう考え、どのように生きて(生活して)いきたいと述べられる児童は稀である。そこで、中学の先を見通すため、自分の目指す道を努力で突き進んだオリンピックのお話を伺う前に、地域に立地する伊奈高校で活躍中の高校生アスリートにも協力をいただき、児童が成長過程をスムーズに見通せるように年間計画に位置づけた。</p> <p>7月〇オリエンテーション「2020年オリンピックを応援しよう！」</p> <p>(1) これまでどんな活躍があったのだろうか？ (オリ・パラの歴史調べ)</p> <p>(2) 身近な地域に活躍していた人はいるかな？ (地域のアスリート調べ)</p> <p>9月〇ぼく・わたしたちのオリンピック「十和小運動会」を成功させよう！</p> <p>(1) オリジナルの種目を考えよう！ (テーマとプログラム・種目研究)</p> <p>(2) 一人もみんなも輝く運動会を創り出そう！ (心構えや演出研究)</p> <p>(3) スポーツ交流会 (伊奈高校生アスリートの技を見せていただく！)</p> <p>11月〇オリンピックを目指す地域の高校生を取材しよう</p> <p>～「まごころふれあいフェスティバル」にて～</p> <p>(1) 「あこがれ高校生に会いに行こう！」 県立伊奈高等学校訪問</p> <p>(2) 「きらり先輩」高校生アスリートへの取材</p> <p>12月〇オリンピック「水泳選手：衣笠(山野井) 絵理さん」のお話を聞こう～『にこにこフォーラム(人権集会)』～</p> <p>(1) 心構え・努力(工夫)の仕方を学ぼう。(取り組み方の学び)</p> <p>(2) どんな方々に支えられていたのだろうか。(支援者への気づき)</p> <p>2月『わたしたちのキャリア学習の成果を発表します』～みのり学習交流会～</p> <p>(1) 一人一人が自分の道のオリンピックを目指して</p>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師(オリンピック・パラリンピアン)を捜すのに苦労した。ご紹介いただける「人材バンク」等があると助かる。</li> <li>・講師の先生との打ち合わせや講演会等の日程(時間)調整にも一苦労であった。事前の打ち合わせをスムーズに行えるよう、コーディネーター等がいてくれると有り難いと感じた。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は地元在住のオリンピックにお願いすることができた。来年度以降については、もしパラリンピアンとの協力を得ることができれば、継続して実施したいと考えている。</li> <li>・高校生アスリートとの交流は、来年度も継続していく。本校だけでなく、谷和原中学校区として、小中高交流と拡大して継続の方向をとっていきたい。</li> </ul>